

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



岩井やすのり



1970 年（昭和 45 年）生まれ 県立君津高卒
専修大卒、早稲田大大学院 政治学研究科修了

事務所連絡先 Fax: **0476-36-7802**

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: mail@iwai-y.jp

〒2701515 印旛郡栄町安食台 2-26-23（栄町役場前）



twitter



blog



facebook

「手弁当」で支える**フリースクール** 公的支援に課題

学校に通いづらさを感じるこどもたちが通う、印西市牧の原のフリースクール「ぴおねろの森」。ほぼ無償のスタッフに支えられるスクールの現状に、公的支援の遅れが浮き彫りとなっています。

●「フリースクールなら通える」という気持ちに納得

関係者である知り合いからご紹介いただき、ぴおねろの森を訪れたのは 11 月中旬のこと。同施設は印西牧の原駅からほど近い閑静な住宅街にある一軒家であり、代表が住む自宅でもあります。

20 畳はあろうかという広いリビングルームに足を踏み入ると、20 名余りのこどもたちがいくつかのグループに分かれ、ゲームをしたりパソコンに向かっていたりします。陽光が降り注ぐ明るい部屋に、スタッフさんが手作りで用意する温かいご飯。学校には決してないアットホームな環境に、フリースクールなら通えるというこどもたちにも納得がいくところです。

●県条例成立も公的支援実現に至っておらず

さて、フリースクールは学校に通うことが困難な子どもたちを受けとめる場所ですが、民間施設であるため利用料は高くなりがち。文科省の調査によるとフリースクールの入会金は平均 5 万 3 千円、授業料は月額 3 万 3 千円に上ると言います。

そんな中、ぴおねろの森では公立学校並みの負担で通えるようにとの考えから、利用料は昼食代込みで一日 500 円のみ。全日通所（週 3 日×4 週＝12 日）でも、利用者負担額はわずか 6000 円です。しかし、これでは運営費をまかなうことはま



まならず、6 人いる運営スタッフの報酬額は 3000 円/月（交通費支給なし）、5 人いる曜日固定サポーターは交通費支給なしで無報酬。まさに「手弁当」のボランティアに支えられている状況です。

問題は公的支援の少なさ。現在、ぴおねろの森が受けているのは、社会福祉協議会「子どもの居場所づくり応援事業」による年 10 万円の助成金のみ。今年 3 月には不登校支援に関する県条例が可決、制定されたところですが、肝心の公的支援の実現には至っておらず、他県と比べても制度の遅れは明白です。

●「不登校は親の責任」発言にはがっかり

最後になりますが、滋賀県内の市長による「フリースクールは国家の根幹を崩しかねない」「不登校は親の責任」等の発言が炎上したのは記憶に新しいところ。公私ともに子育てに向き合ってこなかったのでは？と疑いたくなりますね。フリースクールは「行き場」をなくしかけた子どもたちの救いになる、かけがえのない場所。フリースクールへの公的支援の実現とともに、その理解についても働きかけてまいります。



↑ぴおねろの森の HP です

県指名入札で疑問の声「地元業者が外されている」

県が工事を進める長門川整備事業。建設に先立って行われる測量調査業務において、地元業者が指名業者に選定されないケースが不自然に多いことに、疑問の声が上がっています。

●指名業者9者中、地元業者は2者のみ

指名競争入札（以下、指名入札）とは、発注者が予め選定した業者間で競争入札を行う方法の事です。

「地元業者」は現場に関する知識等を有している事、落札により地元経済の活性化に寄与する事から、県の指名業者選定基準にも「当該工事に對する地理的条件に留意する」と定めています。

問題となっているのは、印西市と栄町との間を流れる長門川の整備事業。県発注の測量業務の指名入札では指名業者の選定が不自然で、「地元業者がはずされている」との声が上がっています。

例えば、令和4年5月に行った指名入札「長門川用地測量その1」は、地権者との接触が必要となる業務であるため特に地元業者を優先すべきところ、指名業者9者のうち地元業者はわずか2者。結果、地域外となる大網白里市内の業者が落札するに至っています。

開 札 調 書				
入札結果は下記のとおりです。				
1. 入 札 執 行 年 月 日	令和 4年 5月20日			
2. 工 事 等 の 名 称	広域河川改修委託（長門川用地測量その1）			
3. 工 事 等 の 箇 所	一級河川利根川太田 長門川 玖波町 安部5級 外			
4. 落 札 者	地域外業者			
5. 落 札 額				28,650,000 円
6. 予 定 額				28,732,000 円
7. 諸 費 率 額				22,957,000 円

入札金額内訳				
入札者	1回	2回	指 定	
地域外業者	25,500,000 円	落札		
地元業者	25,700,000 円			
地域外業者	25,750,000 円			
地域外業者	26,000,000 円			
地域外業者	26,000,000 円			
地域外業者	26,100,000 円			
地域外業者	26,100,000 円			
地域外業者	26,110,000 円			
地域外業者	26,300,000 円			

入札書記金額は、入札者が見届けた契約希望金額の110分の100に相当する金額である。

長門川用地測量その1の開札調書

●地元業者の落札率はわずか 42.8%

取り寄せた開札調書を精査したところ、令和2年から5年までに実施された、長門川整備事業に関わる測量

調査の指名入札は19件。そのうちドローンを用いる UAV 測量など地元業者で対応できないものを除いた14件について、地元業者（佐倉市、白井市、印西市から銚子市までの北東地区の業者が落札したのはわずか6件（42.8%）。指名業者のべ112者のうち地元業者は65者であり、その割合は58.0%にとどまっています。

参考までに、千葉県茂原市などを流れる一宮川の改修工事では、同様に地域外業者に頼らざるを得ないケースを除いた30件（R4～5年）のすべてを地元業者が落札。指名業者のべ232者のうち地元業者は226者（97.4%）とその差は歴然です。

●業者選定基準の明確化と公表を

原因の一つは、指名に関する基準が曖昧であること。「地理的条件に留意する」だけでなく、「何%以内の事業者とする」と明記するなどして、恣意的な運用が入り込む余地をなくす必要があります。指名入札における業者選定基準の明確化とその公表等、制度の改善を強く求めてまいります。

指名入札 長門川と一宮川の比較 (用地測量など地元業者が担うべき業務について)

年度	地元業者の落札率	指名業者に占める地元業者の割合
長門川整備事業	42.8% (6/14)	58.0% (65/112)
一宮川整備事業	100% (30/30)	97.4% (226/232)

※長門川はR2～5年、一宮川はR4～5年

